

寄り添う行政



平成29年採用
内閣官房デジタル行財政改革会議事務局

熱田 翔 ATSUTA SHO



愛犬のモカちゃんとの2ショット

改革の司令塔

私は現在、内閣官房デジタル行財政改革会議事務局に赴任しています。ここでは、規制改革、デジタル改革、行政改革、デジタル田園都市国家構想及び各府省庁の改革の司令塔の役割を担っています。

デジタル行財政改革は、「利用者起点」をキーワードに、教育、交通、介護をはじめとした身近なテーマについて、現場の方々の声を聴きながら、デジタルの力を最大限に活用して、規制や制度の見直しを進めています。

私は主に広報業務を担当しており、この取組を国民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう日々奮闘しています。

改革の最前線で仕事ができるのは、大変貴重な経験であり、刺激的な毎日を楽しんでいます。

現場の声に耳を傾ける

現在の仕事でキーワードになっている「利用者起点」。私が総務省で担当していた行政評価局の仕事にも近いものがあると感じています。

例えば、行政評価局で行っている「行政相談」は、国民の皆様からの相談を受け付け、関係行政機関との間に入り、その解決や行政の制度、運営の改善に生かす仕組みです。

窓口の愛称「きくみみ」は、「相談者からの話に耳を傾けしっかり聞くことを大切にしたい」という意味が込められています。

「制度がこう決まっているから仕方ない」ではなく、利用者の声を大切に、必要があれば制度を見直す、その思考に共感できる方は、総務省に向いているかもしれません。

ぜひ一度、説明会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

今、目の前の仕事に懸命に取り組む



令和2年採用
厚生労働省政策統括官付参事官付
世帯統計室成年者縦断統計企画係

上本 理紗子 UEMOTO RISAKO



休暇に友人とケーキを食べて気分転換

ここでしかできない統計

厚生労働省では、成年者縦断調査という調査を担当しています。縦断調査とは何年間も同じ方に同じ質問を続け、その回答の変化を見る厚生労働省ならではの調査で、ここでしか携われない大変興味深い調査です。また、厚生労働省では他省にはない独自のプログラムを用いて統計表を作成しています。年によっては総務省からの提案で新表を作成することもあります。プログラムの仕組みを理解するのは簡単ではありませんが、上司の方や先輩にアドバイスをもらいながら今までなかった表を作り上げていく作業はとてもやりがいを感じます。

身近に役立つ、誇れる仕事

総務省では、二年間家計調査という調査に携っていました。家計調査では都道府県庁所在地別の消費支出金額を出しておりメディアに取り上げられることが多く、昔から見ているバラエティ番組やクイズ番組の制作会社から調査結果について問い合わせがあった時はこんなにも身近に自分たちの仕事を活用されていることを知り誇らしくなりました。職場の雰囲気は明るく、同年代の同僚も多くとても仲が良いです。年結果の公表日には家計調査名物の餃子の年間消費支出ランキングを見ながら係メンバーで餃子を食ったこともあります。仲間と一緒に統計を作ることに興味のある方は是非総務省にいらして下さい！

進化するICTの利用を支援



平成18年採用
個人情報保護委員会事務局
国際室参事官補佐

山本 明央 YAMAMOTO AKIO



学校のチャイムの起源とも言われるビッグ・ベン

つなげる・つながる仕事

ICTの進展により個人情報を含む膨大なデータが収集・分析可能となり、また、経済・社会活動のグローバル化に伴い、国境を越えたデータ流通が増える中、個人情報保護委員会事務局では、個人情報が安全・円滑に移転できる国際環境の構築を目指し、国際的枠組みや二国間における連携・協調等を進めています。私は、現在、そのうちの多国間フォーラムによる企業認証制度の立ち上げ準備や国際機関における個人情報保護に関する議論を担当しています。

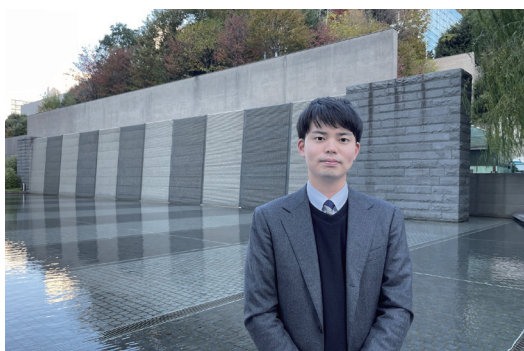
歴史、文化等の違いから、各国がそれぞれ法制度の整備を進める中、国際的な協働を通じてそれらをつなげるとともに、国際会議等の場で私自身が様々な関係者とつながる機会のある仕事に携わっています。

多様な選択肢

これまで、東北総合通信局(地方支分部局)では震災復興支援、ボツワナ共和国(海外)では大使館職員として日本方式の地上デジタルテレビ放送への移行準備、そして、静岡県袋井市(地方自治体)では市職員としてICT事業のとりまとめをそれぞれ経験しました。本省での勤務に加えて、希望すれば、様々な場所で様々な役割を担いICT分野における幅広い業務を選択できることが総務省の魅力の1つだと感じています。

また、日進月歩で進化するICTを扱っていることもあり、総務省では年齢や役職を問わない自由闊達な議論が行われています。皆さんのアイデアを施策や事業に反映するチャンスが多い総務省での活躍をお待ちしています。

サイバーセキュリティで国を守る



令和3年採用
内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター

樋口 久也 HIGUCHI HISAYA



休日は外出してリフレッシュ

国防を担うNISC

私は現在、NISC(内閣サイバーセキュリティセンター)に出向し、システム運用チームの一員として、サイバー攻撃への対処に携わっています。NISCでは24時間365日、政府関係機関へのサイバー攻撃を横断的に監視し、有事の際の情報収集と対処を実施しています。

日々の業務では、NISCと政府関係機関との間で構築しているシステムについて、クラウド導入等の機能強化のための企画やシステム更改等に伴う再構築作業を実施しています。特に、各機関からヒアリングを行い、機関毎の要望に合わせた機能を柔軟に実装していく調整をしています。技術分野の知見を深めるためCYDER等各種実習もあり、サイバー人材育成に注力していることも魅力です。技術の進歩は早く、時代の変化に合わせた対応が急務になっています。

学びと達成感

これまで、JAXA等が開発する人工衛星等の無線局許認可業務や、NICTが行う研究開発の支援等、様々な業務に従事してきました。どの部署の業務も大変な時もありましたが、新しい研究や技術に触れられることは面白く、やり甲斐の一つになっています。

日常業務を円滑に進める上では、上司や同僚と密に連携をとることが大切です。特に一日の業務の流れは想像以上に早く、随時状況のキャッチアップと周囲への共有が欠かせません。そのような日常で、多くの方々と連携しながら一つの業務を完遂すると達成感を感じます。

総務省の職員の方々はユニークで接しやすい方が多いです。これから入省するみなさんとも一緒に働けることを楽しみにしています。